



不眠症治療薬とCYP阻害薬との相互作用



不眠症治療薬の多くは、CYP阻害薬と併用することで薬剤の曝露量が増加し、傾眠などの副作用が増強するおそれがあります。

※詳細は添付文書参照

Check

相互作用に注意が必要な不眠症治療薬

CYP阻害薬との併用禁忌

- ・ドラル錠15
- ・ハルシオン0.25mg錠
- ・ベルソムラ錠15, 20mg (強いCYP3A阻害薬併用時)
- ・ユーロジン2mg錠
- ・ロゼレム錠8mg

CYP阻害薬併用時の用量制限

- ・デエビゴ錠5mg
強いまたは中程度CYP3A阻害薬併用時は**必ず2.5mgへ減量**
- ・ベルソムラ錠15, 20mg
中程度以下CYP3A阻害薬併用時**1日1回10mg**への減量が望ましい

(注) 本記事作成時点の院内採用薬

* 代表的なCYP3A阻害薬

CYP3A阻害作用	CYP3A阻害薬
強い	イトラコナゾール、ボリコナゾール、ポサコナゾール、クラリスロマイシン、リトナビルなど
中程度	シルチアゼム、ベラパミル、フルコナゾール、エリスロマイシンなど

New

デエビゴにおける用量調節

[用法用量]

1日1回5mgを就寝直前に経口投与する。
なお、症状により適宜増減するが、
1日1回10mgを超えないこととする。

強いまたは中程度CYP3A阻害薬を
併用する場合は、**1日1回2.5mg**とすること。

